

## 組合せの基本原則

### 1 ポイント対象試合

[組合せのためのポイント利用]

全日本 Jr	8月	←	前2大会 (国体予選+東信総体)
新人戦	10月	←	前2大会 (東信総体+全日本 Jr)
ウインターカップ	2月	←	前2大会 (全日本 Jr + 新人戦)
国体予選	4月	←	前3大会 (全日本 Jr + 新人戦 + ウインターカップ)
東信総体	5月	←	前3大会 (新人戦 + ウインターカップ + 国体予選)

### 2 シングルス ランキングポイント (東信)

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	best16	best32
22	17	14	12	9	8	7	6	3	1

(順位決定戦を行わない場合、best4は13P、best8は7.5Pとする)

### 3 組合せの基本原則

#### ■ シングルス

- ① 上記大会のランキングポイントにより、1位～32位までを順位に従ってシードする。
- ② それを超える場合は機械抽選とする。
- ③ 同点の場合は、直前の大会のランキング順に上位とする。
- ④ 直前の大会のポイントが同点の同一校選手は、校内ランキングを優先させる。
- ⑤ 同一校の選手は同ブロックに偏らないよう配慮する。3～4、5～8、9～16、17～32の範囲ごとに検討する。
- ⑥ 中学生以下については、シード対象大会および中学生以下の東信大会・県大会の実績によりポイントを考慮する。

**県総体の際に、年間ランキング ベスト 8 入賞者にランキング証を授与する。**

- ⑦ 総体・新人はトーナメント方式で行う。  
 国体・全日本・ウインターカップは予選リーグ・決勝トーナメント方式で行う。  
 ただし、試合方式を変更することもある。(ウインターカップ以外はベスト8以上の順位決定戦を行う。)

#### ■ ダブルス

- ① 総体は、新人の1～4位の同一ペアが出場する場合は新人のランク順にシードする。  
 残りのランキングについては、ペアを組む選手の合計ポイントの高い順にシードする。
- ② 新人は、ペアを組む選手の合計ポイントの高い順にシードする。
- ③ ペアのポイントが同点の同一校ペアは、校内ランキングを優先させる。
- ④ 同一校ペアが同一ブロックに偏らないよう配慮する。3～4、5～8、9～16の範囲ごとに検討する。
- ⑤ ポイント対象試合は、「総体は新人+ウインターカップ+国体」・「新人は総体+全日本 Jr」とする。
- ⑥ トーナメント方式で行う。(順位決定戦は行わないが1～8位のランクはつける。)

#### ■ 学校対抗

- ① 前大会(総体or新人)の1位～8位をそのままシードする。
- ② 前大会のランク校が不参加場合は、下位校のランクを順に繰り上げる。
- ③ ランクのない学校は抽選で位置を決める。
- ④ 予選リーグ・決勝トーナメントを原則とし、ベスト8以上は順位決定戦を行う。
- ⑤ 8校未満=1 or 2リーグ, 8校=2リーグ, 9～12校=3リーグ, 13～16校=4リーグ  
 10,11校(3リーグ)の場合、どのリーグを4校にするかは抽選で決める。  
 13～15校(4リーグ)の場合、ABCの順に4校にする。
- ⑥ 3リーグの場合、7位・8位はABCのいずれかに分かれる形で抽選する。
- ⑦ ただし、リーグ編成・試合方式を変更することもある。

※学校対抗のシード順

A	B
1	2
4	3
5	6
8	7

A	B	C
1	2	3
6	5	4

↑7・8はくじ

A	B	C	D
1	2	3	4
8	7	6	5